

香川高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	語学特講 I (ドイツ語)
科目基礎情報					
科目番号	221048		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	『Mein Deutsch Mein Wunsch : ハンサムドイツ語』 高橋・城間 著 朝日出版社 ISBN:978-4-255-25357-2				
担当教員	田口 淳				
到達目標					
ドイツ語の基礎会話及び基礎文法を習得し、ドイツ語の簡単な文章を読み、書き、話すことができるレベル (独検4級合格程度) にまで到達することを目標とする。また、ドイツ語を通して、異文化への理解を深めながら、多角的な視野を養うことを目指す。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
ドイツ語の簡単な文章を読むこと	ドイツ語の簡単な文章を辞書なしで読むことができる	ドイツ語の簡単な文集を辞書を使って読むことができる	ドイツ語の簡単な文章を辞書を使っても読むことができない		
ドイツ語の簡単な文章を書くこと	ドイツ語の簡単な文集を辞書を使わずに書くことができる	ドイツ語の簡単な文章を辞書を使って書くことができる	ドイツ語の簡単な文章を辞書を使っても書くことができない		
ドイツ語の簡単な文章を話すこと	ドイツ語の簡単な文章を辞書を使わずに話すことができる	ドイツ語の簡単な文章を辞書を使って話すことができる	ドイツ語の簡単な文章を辞書を使っても話すことができない		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	プリント教材や視聴覚教材を用いたり、グループ活動を通して、ドイツ語の基礎文法の習得と、簡単なドイツ語の文章を読み、書き、話すことができるようにする。				
授業の進め方・方法	1時間1項目を原則として授業を進めていく。その際、確認問題 (配付プリント) やゲーム形式のグループ学習を通して、文法の定着を図っていく。				
注意点	担当教員への連絡先: 教員室TEL 087-869-3842 E-M a i l : taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	発音、簡単な会話	ドイツ語特有のアルファベットや発音のポイントが理解でき、簡単な挨拶や会話、自己紹介がドイツ語でできる。	
	2週	動詞の現在人称変化語順	基本的な動詞の人称変化ができる。平叙文、疑問文、強調文の語順が理解できる。		
	3週	名詞の性定冠詞	名詞の性についての理解できる。定冠詞を用いた簡単な文章を読み、書くことができる。		
	4週	不定冠詞複数形	不定冠詞を用いた簡単な文章を読み、書くことができる。複数形の作り方を理解し、複数名詞を用いた文章を読み、書くことができる。		
	5週	定冠詞類	定冠詞類を用いた簡単な文章を読み、書くことができる。		
	6週	不定冠詞類	不定冠詞類を用いた簡単な文章を読み、書くことができる。		
	7週	指示代名詞、疑問代名詞	指示代名詞、疑問代名詞を用いた簡単な文章を読み、書くことができる。		
	8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	試験返却、解説 不規則な現在人称変化をする動詞命令形	不規則な現在人称変化をする動詞の使い方を理解し、それを用いた文章を読み、書くことができる。命令形の作り方を理解し、簡単な命令形の文章を読み、書くことができる。	
	10週	人称代名詞	人称代名詞を用いた文章を読み、書くことができる。代名詞を用いた時の語順の違いを理解し、正しい語順で文章を書くことができる。		
	11週	前置詞	前置詞の格支配を理解し、前置詞を用いた文章を読み、書くことができる。		
	12週	形容詞の格変化①強変化、弱変化	形容詞の格変化 (強変化、弱変化) を理解し、形容詞を用いた文章を読み、書くことができる。		
	13週	形容詞の格変化②混合変化、応用	形容詞の格変化 (混合変化) を理解し、形容詞を用いた文章を読み、書くことができる。		
	14週	話法の助動詞	話法の助動詞を用いた文章を読み、書くことができる。		
	15週	未来の助動詞	未来の助動詞を用いた文章を読み、書くことができる。		
	16週	前期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項に ついて説明できる。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が 果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	提出物	合計
総合評価割合	80	10	0	0	0	10	100
基礎的能力	80	10	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0